



進路決定に向けて～家事活動編～

先日、キャリア教育に関する「幼児期から成年期までの職業教育」の研修会に参加する機会がありました。「職業教育」は、校内実習や現場実習だけではなく、家庭や学校、様々な取り組みや経験の中で力をつけていくことができるというお話でした。まずは、幼児期の家庭における家事活動であるお手伝いを通して、生活自立の基礎を身に付けていきます。学齢期になると社会自立に向けた取り組みになってきます。小学部では個々の目標を設定した「係活動」、中学部では授業等で作製した作品をバザー等で販売する「生産活動」や「販売活動」、高等部では校外における「現場実習」など、学年や学部に応じてステップを踏みながら取り組んでいきます。学齢期における係活動では「役割を果たす」、販売活動では「人に喜んでもらう」「買ってもらう喜びを知る」、現場実習では「社会の仕組みを知る」「進路を考える」といったことが学びの大きな目標となります。個々によって働ける時間や活動内容は異なりますが、社会と繋がりを持ち「社会のために」「誰かのために」働くということは、みんな一緒です。誰かのために役に立ちたいという気持ちは、感謝されることにより高まり、それが働く意欲に繋がっていくのではないかと思います。

25日から冬休みに入りますので、是非お手伝いをしてもらってください。お手伝いをお願いすることで、いつもよりも時間がかかったり、見守りが必要だったりご家族のご協力も必要になるかと思います。本人やご家族の無理のない範囲で、継続できることにチャレンジしてみてください。お手伝いができた時には、「ありがとう」の感謝の気持ちを忘れず伝えてあげてください。「明日も頑張ろう」「ほかのお手伝いもしたい」などの気持ちが芽生えることと思います。



お掃除のポイントコーナー

掃除を仕事とする企業や事業所を訪問し、実習の様子を見学した際に我々が感じた、子どもたちの掃除の困りポイントや手立てをご紹介します。掃除の動作をひとつひとつ見ていくと、それぞれにポイントがありますので、ほんの一例ではありますが参考になさってください。

① 雑巾を使って窓ふきをする際、手のひらで雑巾を押さえられず握ってしまう。

👉 改善ポイント→手のひらで雑巾を押さえることに意識が向くようにしてみましょう。

② 机など大きい面を拭く際、拭き残しがある。

👉 改善ポイント→スプレー洗剤（水でもOK）などを使って拭き掃除場所（動線）を分かりやすくする。

※洗剤を付けすぎると拭き取りに時間がかかりますのでご注意ください。



進路指導部の活動にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

みなさま、良いお年をお迎えください。

